

中学生教育委員会

～学校生活・授業の向上を～

中学生憲章の具現化を目的とした「中学生教育委員会」が1月6日（火）、揖斐川町役場で行われました。

この取り組みは、学校生活や授業のあり方などについて生徒らが話し合うもので、町内4中学校から2年生の代表18人と町の教育委員、教諭など約30人が出席しました。

各校の現状や取り組みの紹介に続き、教育委員会に対して交流の機会を増やしてほしいなどの生徒からの提言がありました。

また、新年度に取り組むテーマを決める協議が行われ、2つを「サミット宣言」として採択しました。1つ目は、今年度に課題が残った「思いやりのある言動をしよう」を継承し、2つ目は新しく「あいさつをする心を育もう」としました。



▲テーマを協議する中学生委員

揖斐高校「学習成果発表会」

～多彩なステージ会場を魅了～

1月18日（土）、揖斐高等学校の学習成果発表会が大野町総合市民センターで開かれました。

この学習成果発表会では、卒業を控えた3年生の生徒が各専攻やコースごとに取り組みや作品を発表しました。

3年生の生徒143人が学ぶ同校には、普通科、普通科ビジネスコース、生活環境科の和装、服飾、福祉、食物コースの4コースがあり、それぞれのコース別に発表が行われました。

今年のテーマを「繋ぐ人との思いを」とした、発表会のステージでは、艶やかな着物の着付けやスライドでの活動紹介、ファッションショーなどがあり会場を魅了していました。また、会場内には、作品の展示などもあり来場者の目を楽しませていました。



▲ファッションショーのフィナーレ

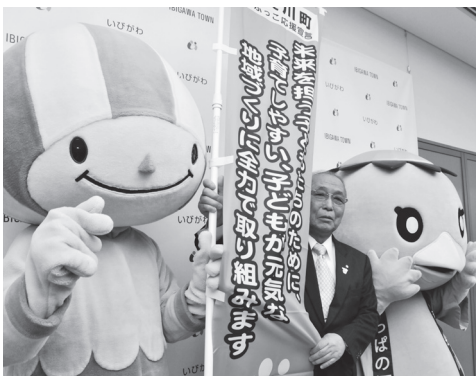
ぎふっ「応援宣言」

～子育てしやすいまちづくり～

岐阜県が少子化対策として進めている「ぎふっこ応援宣言」の宣言書受渡式が1月20日（火）、揖斐川町役場で行われました。

これは、近年の少子化を踏まえ、県内の42市町村がどのように取り組んでいくかを宣言し、少子化に対する意識を高めるものです。

この日、宗宮町長は揖斐川町の応援宣言「私は未来を担う子どもたちのために、子育てしやすい子どもが元気な地域づくりに全力で取り組みます」と書かれた宣言書（のぼり旗）を「清流の国ぎふ」マスコットキャラクターのミナモに手渡しました。各市町村の応援宣言は、広報媒体をとおして県全体へ発信されます。



▲のぼり旗を手渡す宗宮町長

災害時における障がい者（児）の支援に関する協定を締結

1月23日（金）、町と町内で障がい支援サービスを実施する5団体が「災害時における障がい者（児）の支援に関する協定」を締結しました。

これまで、町が地域防災計画に位置付けている「避難所」では、障がいの種類に応じた受け入れは困難でしたが、今回の協定によって、施設への障がい者（児）の緊急受け入れや避難所への専門スタッフの派遣、障がい者（児）の移動に必要な福祉車両の提供などが受けられるようになりました。

調印式で宗宮町長は「災害時に安心して安全に過ごしていただきたい、そのためにいち早く避難や手当てができるよう施設に協力をいただきたい。社会福祉行政に支援をいただき感謝したい」と挨拶しました。



▲西濃サンホームほか4団体と調印



▲講演「小児吃音の診療取り組み」

特別支援教育の現状と課題を共有する、揖斐川町特別支援教育フォーラムが1月25日(日)、谷汲サンサンホールで行われました。

今年で7回目のフォーラムには、町内外の保護者や療育や特別支援に関わる機関の職員などを含め、160人の参加がありました。

昨年開所した揖斐川町児童発達支援事業所「いびがわアップル」の紹介や「自閉症オーダーメイドの支援ツールの活用法」についての紹介、九州大学耳鼻咽喉科医師の菊池良和さんの「小児吃音について」の講演がありました。講演は小中学生の頃の医師自らの体験も交えたお話で、周囲の理解の重要性について触れました。

講演会の後には座談会があり、日頃の悩みや疑問などを参加者が共有しました。

揖斐川町特別支援教育フォーラム

～現状と課題を共有～



▲ザイオン国立公園での記念撮影

町内の中学2年生の代表18人が、1月22日(木)から30日(金)まで、マラソンで交流のあるアメリカ合衆国ユタ州セントジョージ市で研修を行いました。

We can do it! ～挑戦・あゆみ～を目標として掲げ、渡航した生徒らは現地でホームステイをしながらスノーキャニオン・ミドルスクールやパンビュ・ミドルスクールなどを訪問し、日本や町の自然・歴史・文化・学校生活を英語で紹介しました。

また、アメリカの生徒たちが授けている授業に実際に参加するなどして見聞を深めました。

帰国した生徒らは「今回の経験を、学校や地域社会のなかで活かしていきたい」と話しました。

中学生海外派遣事業

～セントジョージ市で学ぶ～



▲子育てワイワイトークの様子

子育てについて学ぶ「いびがわパパママ子育てフェスタ」が2月1日(日)、揖斐川町中央公民館で開催されました。

「子育てしやすい子どもが元気な地域づくり」を重要施策として掲げている町が子育ての不安を和らげ、地域で子育てをする仲間の輪を広げる目的で開催したこのイベントには、町内の先輩ママで結成された「いびがわ子育て応援団」が企画運営しています。3部構成の第1部は、子育てワイワイトークとして揖斐川町での教育経験がある教員やベテランの保育士が自身のエピソードを踏まえながら子育てについてトークをしました。

2部では、家族で楽しめる創作巻き寿司の実演、3部では、グループに分かれてのサロンで、子育てに対するお互いの悩みなどを共有しました。

いびがわパパママ子育てフェスタ

～みんな子育て楽しんでる!～



▲仁王門前で行われた豆まきの様子

2月3日(火)、谷汲山華厳寺で、谷汲観光協会主催の節分厄払い行事が行われました。

毎年恒例のこの催しには平日にもかかわらず約3500人の参拝客が訪れました。

午後1時から華厳寺本堂で御祈祷が行われ、その後本堂と高さ4メートルの赤鬼が設置された仁王門の2か所で、家内安全、無病息災などを願う福豆がまかれました。訪れた参拝者は幸福をつかみ取ろうと、勢いよく手を伸ばしていました。

境内には、「福は内」の音が響き渡り人の熱気とともに賑わいを見せていました。

また、甘酒の無料サービスも行われ人気の行列が出来ていました。

「福は内」節分厄払い行事

～谷汲山華厳寺～